

《担当者名》高橋 勇造 (非) y-takahashi@kacotam.com

【概要】

この授業は、ボランティアの理論と実践活動を通して、地域連携の理念を理解するとともに、自己理解を深め、地域に貢献する意志を有した人材の育成に寄与することを目的として、講義及びボランティア実践を行うものである。

【学修目標】

1. ボランティアに関する基礎知識を得て、それを自分で説明することができる。
2. 地域や子どもたちの諸課題を広く概観することにより、地域における身近な課題を発見することができる。
3. 自己理解の深化と社会的な問題の解決への意欲を高められる。
4. チームとしての協働の必要性、重要性を理解することができる。
5. 自身の意見をまとめ、説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	講義の概要	本講義を通してどのような活動をするのか、何を学ぶのかなどを概観できる。	高橋
2	ボランティア活動と心理側面の理解	ボランティア活動の理論と歴史を配布資料に沿って、ボランティア活動を通じて、人間の心と行動の理解ができる。	高橋
3	ボランティアの理解	札幌市内でボランティア活動に取り組むNPOの事例を通して、その意義を理解できる。	高橋
4	社会課題の調査と理解	関心のある社会課題について調査し、その社会課題について、説明することができる。(パソコン持参)	高橋
5	ボランティア活動のインタビューの準備	関心のある社会課題に取り組むNPOへのインタビューに向けて、インタビュー手法・注意点を説明し、実践ができる。(パソコン持参)	高橋
6	ボランティア活動の準備	ボランティア活動に必要な知識や技能を実践できる。(パソコン持参)	高橋
7	ボランティア活動をする団体へのインタビュー(1)	ボランティア活動に取り組むNPOにインタビューを行い、活動の意義、活動現場について知る。	高橋
8	ボランティア活動をする団体へのインタビュー(2)	ボランティア活動に取り組むNPOにインタビューを行い、ボランティアの存在意義を理解する。	高橋
9	ボランティア活動の実際(1)	NPOと協力し、札幌市内でボランティア活動に取り組む。(団体の存在意義の理解他)	高橋
10	ボランティア活動の実際(2)	NPOと協力し、札幌市内でボランティア活動に取り組む。(活動の対象の理解他)	高橋
11	ボランティア活動の実際(3)	NPOと協力し、札幌市内でボランティア活動に取り組む。(活動している人の役割の理解他)	高橋
12	ボランティア活動の実際(4)	NPOと協力し、札幌市内でボランティア活動に取り組む。(団体の運営者の理解、団体の課題を見つけ、課題解決を考察する)	高橋
13	ボランティア活動発表準備	活動報告に向けて発表スキルを身につけ、総括に向けての準備をする。(パソコン持参)	高橋
14	地域ボランティア論の総括(1)	自身のボランティア活動を振り返り、さまざまな職種や地域との連携の価値を認識する。(パソコン持参)	高橋
15	地域ボランティア論の総括(2)	自身のボランティア活動を振り返り、さまざまな職種や地域との連携の価値を認識する。(パソコン持参)	高橋

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業レポート30%、ボランティア活動報告プレゼンテーション70%として総合評価する。

【教科書】

教科書は使用しない。その都度プリントを配付する。

【備考】

指定された時期の間で、NPOと協力し、1回のインタビュー、1回（半日活動の場合には2回）ボランティア活動に取り組む。
参加するボランティア活動は札幌市内・近郊各地で行われる。ボランティア先までの交通費等の実費(食事他)は、受講学生の自己負担になる。

教職課程の「大学が独自に設定する科目」に該当する。

「初級パラスポーツ指導員」の認定科目であり、資格取得には指定された授業を受講する必要がある。

【学修の準備】

学修時間90 時間（授業30 時間、予習復習60 時間）

予習：前回の授業時に指示する課題を読み、理解しておくこと（2時間）。

復習：配布資料に関する課題を活用し、学習内容を深めること（2時間）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

【実務経験】

ボランティアを活用した子どもと関わる活動をするNPO法人の運営

【実務経験を活かした教育内容】

子どもと関わる活動の実務経験を活かし、実践的な講義をする